

福井県産業労働部(公営企業)

公営企業課

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1
TEL:0776-20-0535 FAX:0776-20-0663
ホームページ <https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/koueikigyo/index.html>



福井臨海工業用水道 管理事務所

〒910-3113
福井市江上町43-20
TEL:0776-59-1124
FAX:0776-59-1125



日野川地区水道 管理事務所

〒915-0863
越前市大塩町62-6-2
TEL:0778-22-0301
FAX:0778-22-0641



坂井地区水道 管理事務所

〒910-0207
坂井市丸岡町山久保5-27
TEL:0776-66-4227
FAX:0776-66-7972



テクノポート福井 浄化センター

〒913-0036
坂井市三国町米納津49-100-6
TEL:0776-85-1588
FAX:0776-85-1164



健康長寿の福井

あらかじめ、
幸せだったらいいな。



福井県の公営企業



ジュラチック
Juratic



サウラン ラフト ティッチー

©FUKUI/play set products

概要

目標

地球環境の保全と
良質なサービスの提供に
努めます

工業用水道事業

工場内で洗浄や冷却等の生産活動に使用される工業用水を、「県営第一工業用水道事業」と「福井臨海工業用水道事業」により安定的に供給しています。

水道用水供給事業

膜ろ過や砂ろ過による浄水処理した安全で安心な水道水を、「日野川地区水道用水供給事業」と「坂井地区水道用水供給事業」で5市2町に安定的に供給しています。

臨海下水道事業

「テクノポート福井」の各企業から排出された汚水を、「テクノポート福井浄化センター」で微生物や活性炭により浄化し、日本海へ放流しています。

臨海工業用地等造成事業

産業の高度化と雇用機会の拡大を図るため「テクノポート福井」を整備し、産業用地を計画的に造成しながら県内外の企業へ売却しています。

テクノポート福井
浄化センター
27,000m²/日

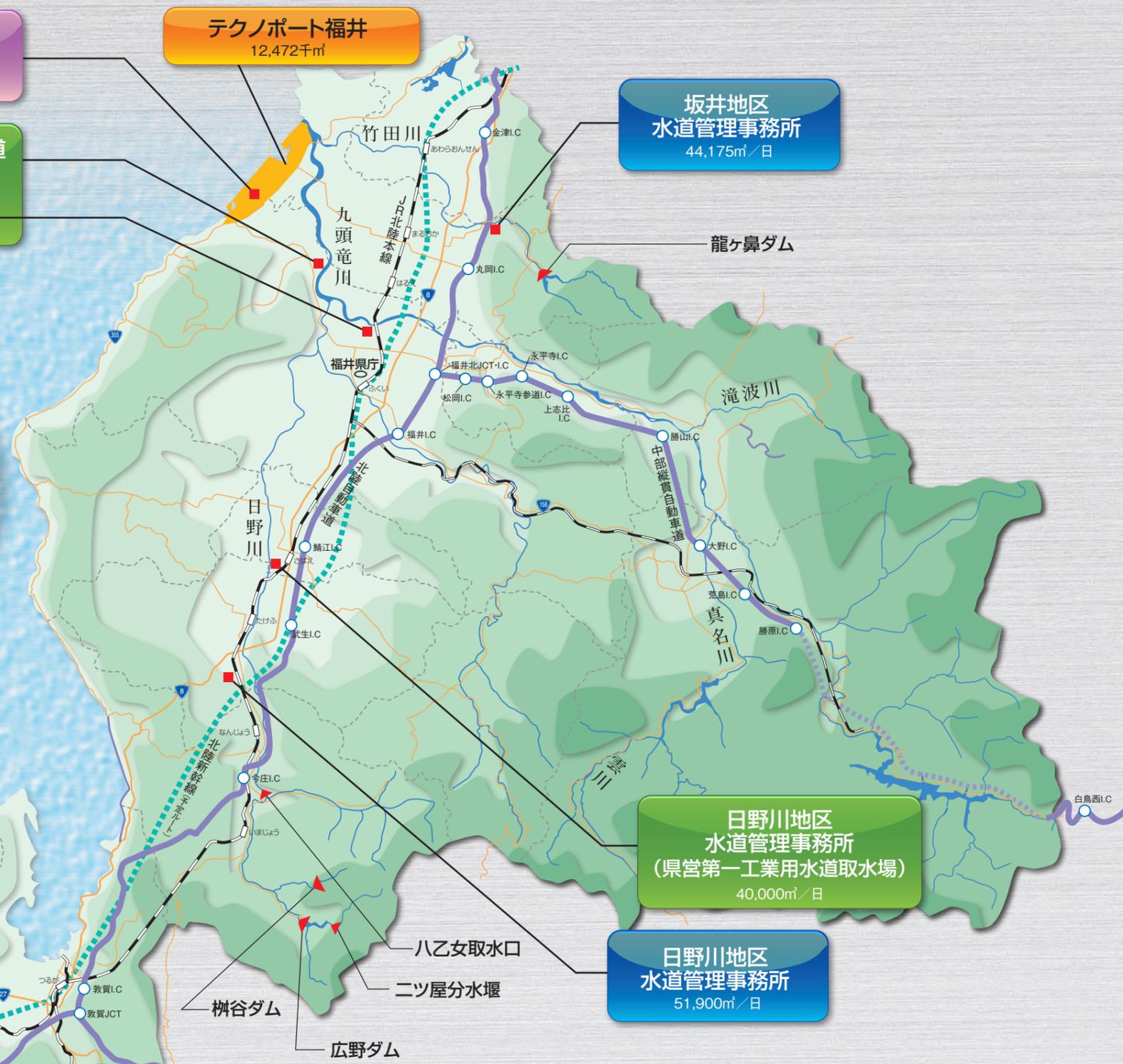
テクノポート福井
12,472千m²

福井臨海工業用水道
管理事務所
46,000m²/日
(舟橋取水場)

坂井地区
水道管理事務所
44,175m²/日

日野川地区
水道管理事務所
(県営第一工業用水道取水場)
40,000m²/日

日野川地区
水道管理事務所
51,900m²/日



地方公営企業とは

地方公共団体は、私たちの日常生活に密着したさまざまな分野で、行政活動を行っています。
地方公営企業は、地方公共団体が行う活動のうち「企業」としての分野を担っているもので、地域住民の福祉の増進を目的とする点は一般行政と同じですが、その活動に要する経費が地方公共団体の場合は、主に税金によってまかなわれるのに対し、地方公営企業の場合は、利用者の負担する料金によってまかなわれる点に違いがあります。

県営第一工業用水道事業



配水池全景

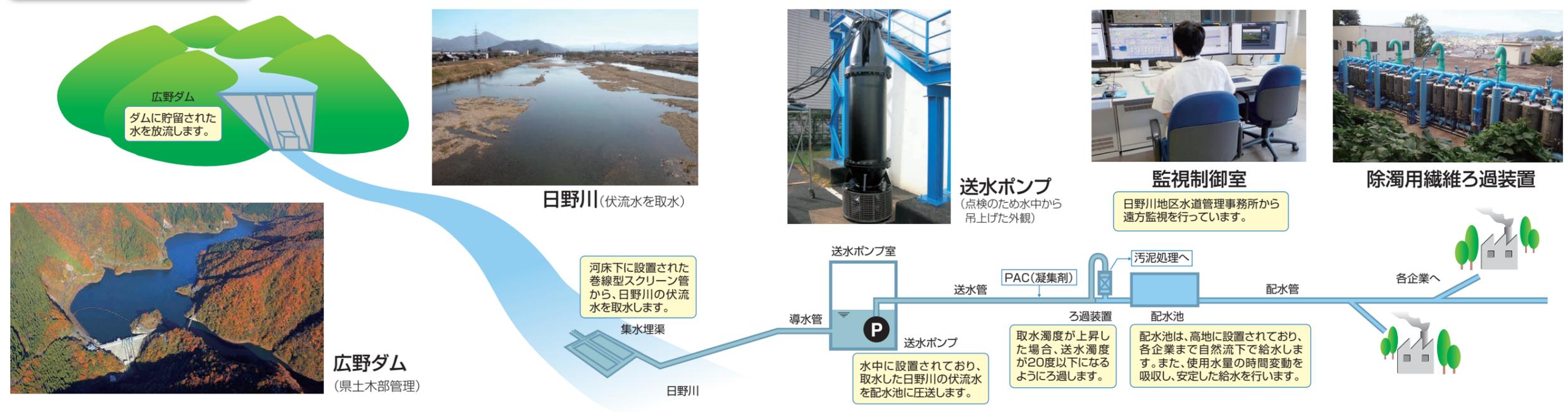
概要

県営第一工業用水道事業は、広野ダムの放流水を鯖江市舟津町地係の日野川から伏流水として取水し、原水または濁度処理した工業用水を鯖江市東部工業団地等の各企業に安定供給することにより、地下水の低下を防止するとともに、地域産業の発展を支えています。

名称	日野川地区水道管理事務所 (県営第一工業用水道取水場)
所在地	鯖江市上鯖江2丁目7-18
水源	日野川伏流水(広野ダム)
取水地点	鯖江市舟津町
給水能力	40,000m ³ /日
水利権	43,200m ³ /日
給水開始時期	昭和50年12月
給水区域	鯖江市および隣接市町
送配水管延長	約9.1km



処理フロー図



日野川地区水道管理事務所
(県営第一工業用水道取水場)

福井臨海工業用水道事業



浄水場全景

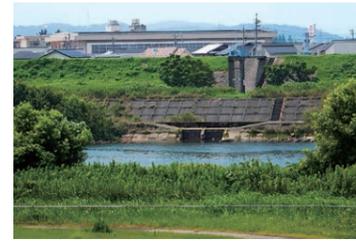
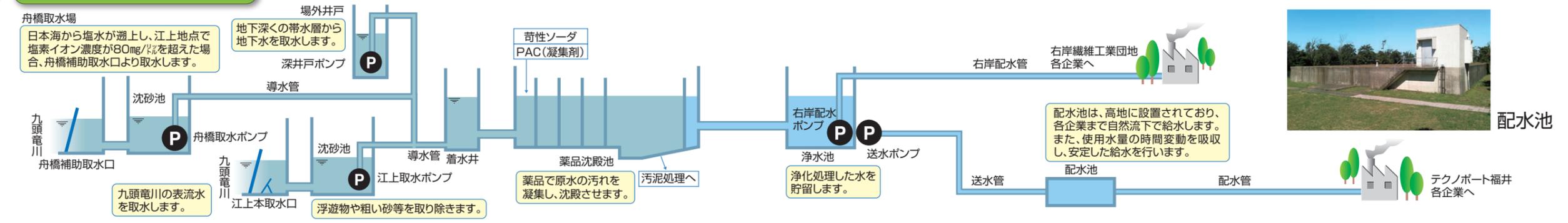
概要

福井臨海工業用水道事業は、九頭竜川表流水および地下水を取水し、福井市江上町の浄水場で、浄水処理した工業用水をテクノポート福井および右岸繊維工業団地の各企業に安定供給することにより、地域産業の発展を支えています。

名称	福井臨海工業用水道管理事務所
所在地	福井市江上町43-20
水源	九頭竜川(表流水)、地下水
取水地点	福井市江上町(本取水口) 福井市舟橋黒竜(補助取水口) 福井市舟橋黒竜、天池町(地下水)
給水能力	46,000m ³ /日
水利権	本取水口 44,700m ³ /日 補助口 33,680m ³ /日
井戸の取水能力	10,000m ³ /日
給水開始時期	昭和53年4月
給水区域	テクノポート福井および福井市のうち九頭竜川右岸の区域内
導送配水管延長	約43.1km



処理フロー図



舟橋補助取水口



九頭竜川水管橋



江上本取水口



取水ポンプ



薬品沈殿池



送水ポンプ



中央監視制御室



配水池

日野川地区水道用水供給事業



浄水場全景

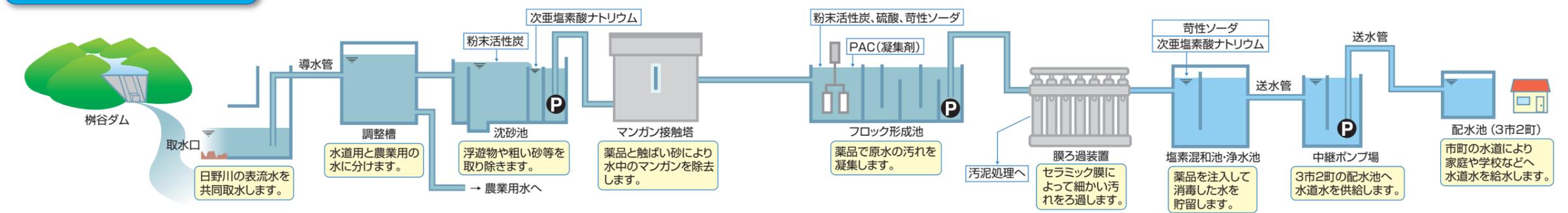
概要

日野川地区水道用水供給事業は、榎谷ダムの放流水を南越前町八乙女地係の日野川から取水し、越前市大塩町の浄水場で、セラミック膜を使用した最新技術により浄水処理した良質な水道水を、日野川流域3市2町に安定供給することにより、住民の生活を支えています。

名称	日野川地区水道管理事務所
所在地	越前市大塩町62-6-2
水源	日野川(榎谷ダム)
取水地点	南越前町八乙女地係(農水、工水と共同取水)
給水能力	51,900m ³ /日
水利権	55,800m ³ /日
給水開始時期	平成18年12月
給水区域	越前市、鯖江市、福井市(一部)、南越前町(一部)、越前町(一部)
送水管延長	約60.5km



処理フロー図



榎谷ダム(県土木部管理)



八乙女取水口(県農林水産部管理)



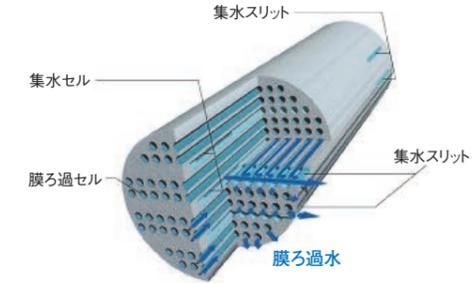
沈砂池



膜ろ過装置



中央監視制御室



セラミック膜構造

坂井地区水道用水供給事業



浄水場全景

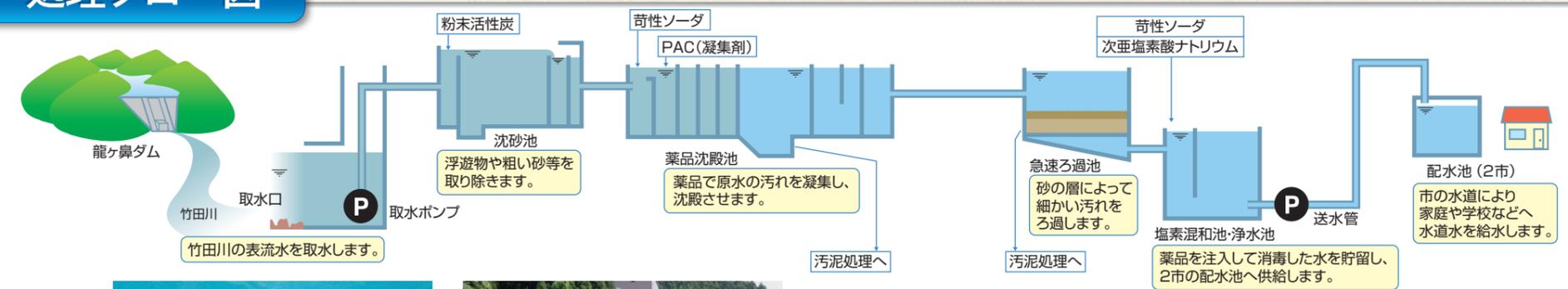
概要

坂井地区水道用水供給事業は、龍ヶ鼻ダムの放流水を坂井市丸岡町山久保地系の竹田川から取水し、浄水場で砂ろ過により浄水処理した良質な水道用水を、あわら市および坂井市に安定供給することにより、住民の生活を支えています。

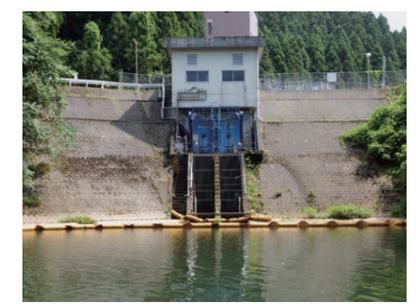
名称	坂井地区水道管理事務所
所在地	坂井市丸岡町山久保5-27
水源	竹田川(龍ヶ鼻ダム)
取水地点	坂井市丸岡町山久保
給水能力	44,175m ³ /日
水利権	47,500m ³ /日
給水開始時期	昭和63年10月
給水区域	あわら市、坂井市
送水管延長	約40.1km



処理フロー図



龍ヶ鼻ダム(県土木部管理)



取水口



薬品沈殿池



急速ろ過池



中央監視制御室



水質試験室

臨海下水道事業

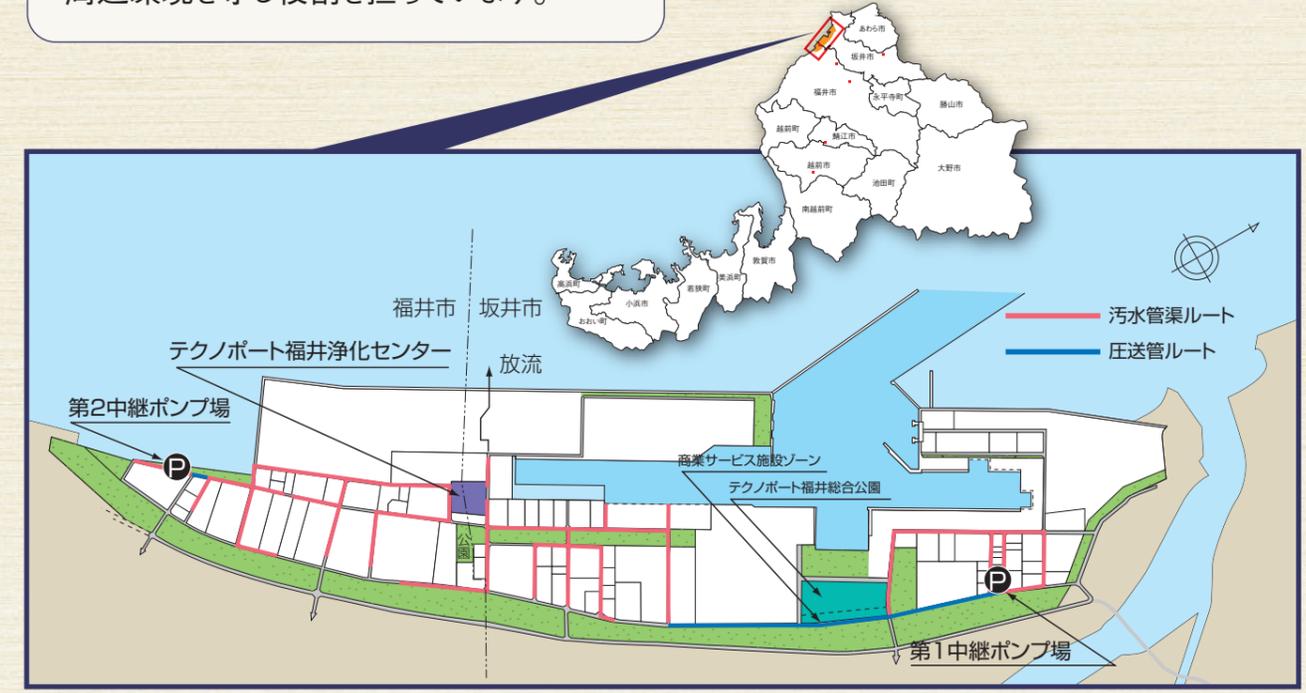


処理場全景

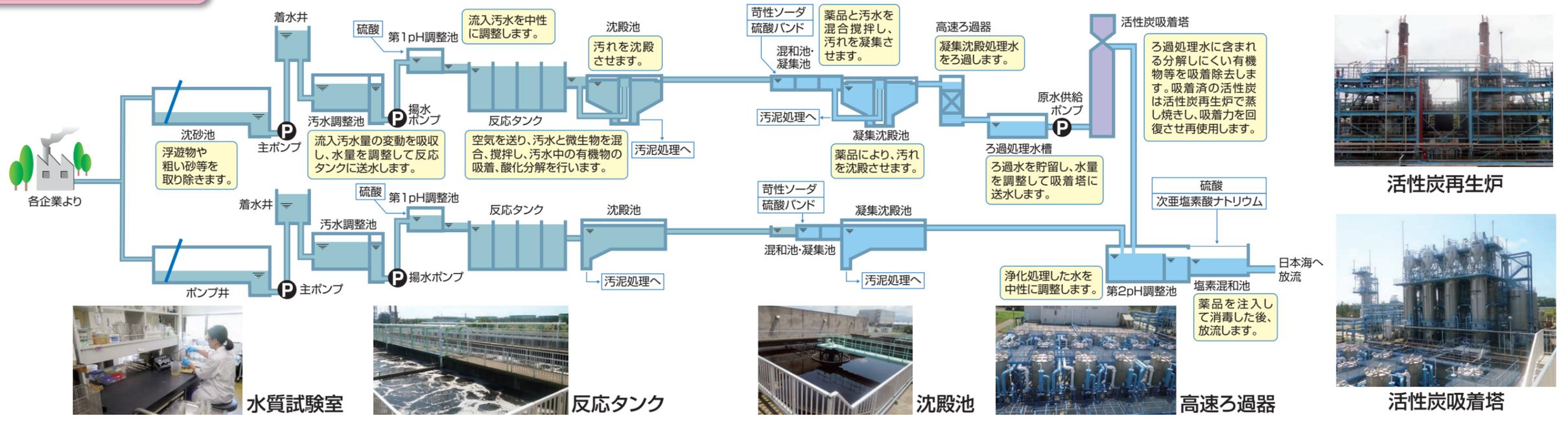
概要

臨海下水道事業は、テクノポート福井内の各企業から排出された汚水を、生物処理に加え活性炭を使用して安定的に浄化処理することにより、地域産業の発展を支えるとともに、公共用水域の水質を保全し、周辺環境を守る役割を担っています。

名称	テクノポート福井浄化センター
所在地	坂井市三国町米納津49-100-6
処理能力	27,000m ³ /日
供用開始時期	平成5年12月
処理区域	テクノポート福井
污水管延長	約31.0km



処理フロー図



テクノポート福井

概要

テクノポート福井(福井臨海工業地帯)は、本県産業の高度化と雇用機会の拡大を図るため、昭和44年に福井臨海工業地帯造成計画を策定し、昭和47年から造成を開始しました。港湾施設のほか、工業用水や下水処理施設など、充実した産業基盤の整備を図りながら、産業用地7,643千㎡を計画的に造成し売却しています。令和5年8月末現在、化学系をはじめとする進出企業数は74社を数え、産業用地の売却率は92.7%、従業員数は約5,000人となっています。また、従業員や周辺住民などの憩いの場として、商業サービス施設ゾーンやテクノポート福井総合公園なども整備しています。

今後も県内および全国から産業技術が集積する拠点として一層の発展を目指していきます。



計画概要

名称	テクノポート福井
所在地	福井市、坂井市
計画面積	12,472千㎡
産業用地面積	7,643千㎡
港湾	1.5万トン級船舶入港可能(将来5万トン級)
工業用水道	福井臨海工業用水道より供給
下水道	臨海下水道にて処理



テクノポート福井の位置

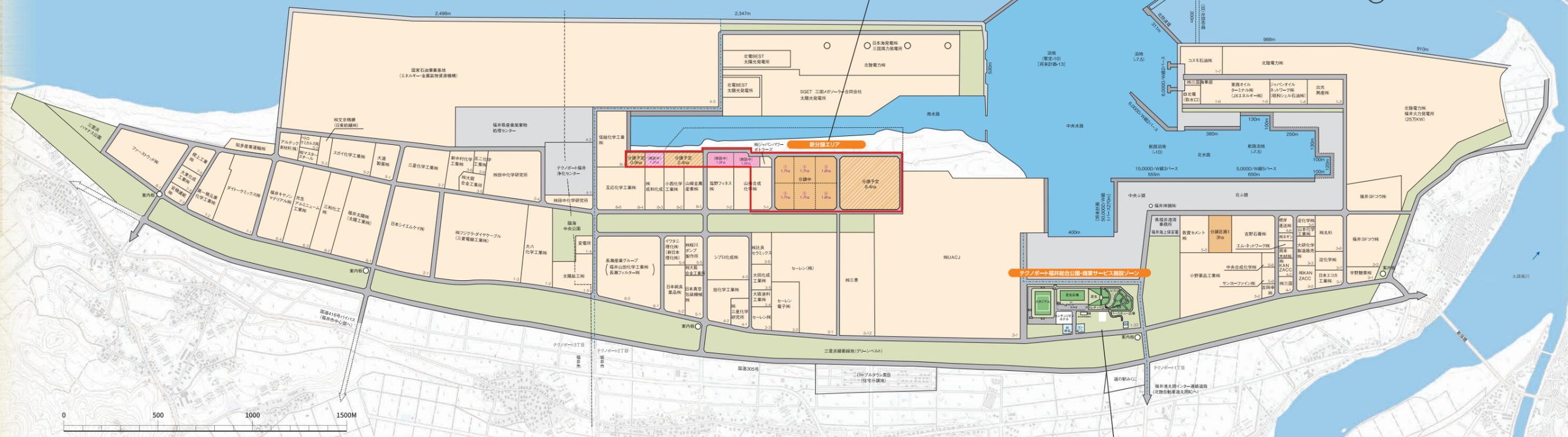
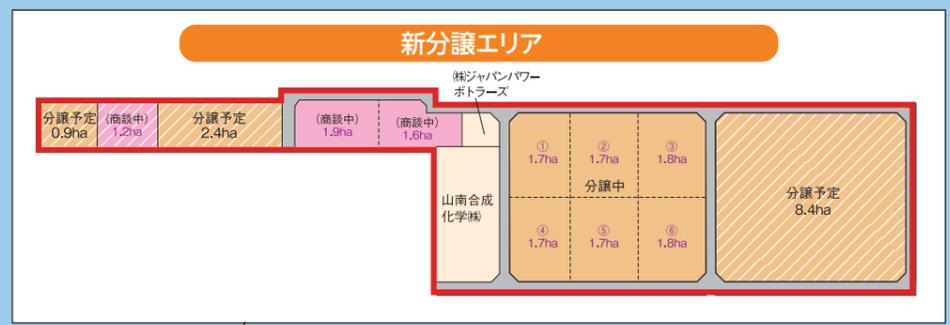


テクノポート福井概要図



(令和5年8月31日現在)

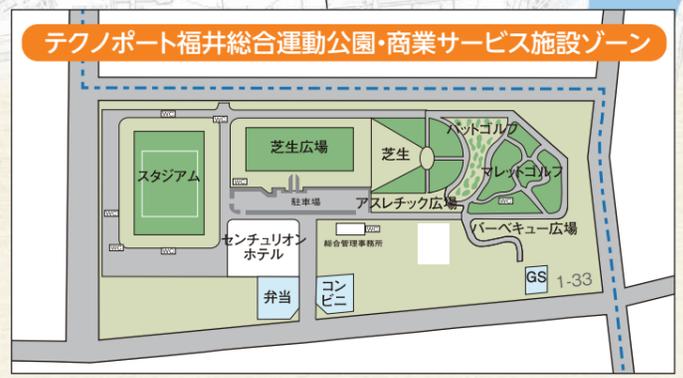
凡 例	
	産業用地
	分譲中
	分譲予定
	岸壁・ドルフィン
	物揚場
	防波堤・防砂堤
	ふ頭用地等公共用地
	都市的機能用地
	緑地・公園
	道路
	水路



グリーンベルト(展望台)



テクノポート福井スタジアム



公営企業のあゆみ

年月日	内 容
昭和27年4月	「九頭竜川総合開発計画」に基づき「九頭竜川総合開発本部」および大野郡西谷村中島に「真名川総合開発調査事業所」を設置
昭和27年11月	県営で電気事業を実施することを県議会で議決
昭和31年12月	雲川ダム完成
昭和32年2月	中島発電所運転開始(18,000kW)
昭和32年9月	電気事業に地方公営企業法の全部を適用し電気局を設置
昭和32年11月	笹生川ダム完成
昭和39年10月	小原ダム完成
昭和39年12月	電気ビル完成
昭和40年2月	滝波川第一発電所運転開始(12,300kW)
昭和40年4月	有料道路事業調査のため電気局を企業局に改組
昭和40年9月	西谷村集中豪雨により中島発電所浸水
昭和41年2月	中島発電所復旧
昭和41年3月	三方五湖有料道路計画確定により有料道路事業に地方公営企業法の全部を適用
昭和43年5月	三方五湖有料道路「レインボーライン」完成
昭和44年9月	福井臨海工業地帯造成計画(マスタープラン)作成
昭和45年4月	企業管理者の設置(福井県公営企業設置条例第3条)
昭和46年4月	越前海岸有料道路完成
昭和46年8月	福井臨海工業用地帯造成事業に地方公営企業法を適用企業庁に改組、公営事業部、臨海開発部の2部制
昭和46年11月	工業用水道事業を知事部局より移管
昭和47年3月	福井臨海工業地帯造成計画(マスタープラン)改訂
昭和47年7月	福井臨海工業地帯造成事業開始
昭和48年4月	県営第一工業用水道事業に地方公営企業法を適用
昭和48年11月	坂井地区水道用水供給事業に地方公営企業法を適用
昭和49年4月	臨海工業用水道事業に地方公営企業法を適用
昭和49年10月	永平寺有料道路完成 道路公社へ引継ぎ

年月日	内 容
昭和50年12月	県営第一工業用水道給水開始
昭和52年4月	有料道路事業を道路公社に引継ぎ
昭和52年4月	真名川発電所運転開始(14,000kW)
昭和53年4月	福井臨海工業用水道給水開始
昭和53年7月	福井港開港
昭和56年3月	部制廃止
昭和56年11月	国家石油備蓄基地立地決定
昭和57年3月	電気ビル売却
昭和58年3月	日野川地区水道用水供給事業に地方公営企業法を適用
昭和58年6月	福井臨海工業用水道 補助取水口を設置
昭和58年10月	福井臨海工業地帯造成計画(マスタープラン)改訂
昭和59年11月	福井臨海工業用水道給水区変更(福井市二日市工場適地追加)
昭和63年10月	坂井地区水道給水開始
平成元年1月	福井臨海工業地帯造成計画(マスタープラン)改訂都市的機能の充実 愛称「テクノポート福井」使用
平成元年6月	山口発電所運転開始(1,900kW)
平成2年10月	テクノポート福井商業サービス施設用地分譲開始
平成3年4月	臨海下水道事業を知事部局より移管
平成3年4月	臨海下水道事業に地方公営企業法を適用
平成4年12月	中島第二発電所運転開始(2,400kW)
平成5年3月	県営第一工業用水道 除濁設備を設置
平成5年10月	(財)福井県企業公社設立
平成5年12月	臨海下水道供用開始
平成6年3月	テクノポート福井総合公園(文化レクリエーション施設ゾーン)竣工
平成8年12月	広野発電所運転開始(1,400kW)
平成12年4月	坂井地区水道全量給水開始
平成13年3月	「テクノポート福井」基本計画(マスタープラン)改訂

年月日	内 容
平成14年4月	企業局に改組 企業管理者の不設置(福井県公営企業設置条例第3条)
平成14年12月	国見岳風力発電所運転開始(1,800kW)
平成18年12月	日野川地区水道給水開始
平成19年4月	県営第一工業用水道管理事務所を日野川地区水道管理事務所へ統合
平成21年4月	産業労働部へ改組
平成22年3月	電気事業を民間に譲渡

年月日	内 容
平成22年3月	公営企業経営課に集約(令和元年6月 公営企業課に課名変更)
平成25年4月	日野川地区水道全量給水開始
平成27年4月	臨海下水道 一日最大処理量を22,000m ³ に増強
平成27年4月	(一財)福井県企業公社が(一財)福井県産業廃棄物処理公社へ統合
平成30年3月	福井県公営企業経営戦略を策定
令和4年4月	臨海下水道 一日最大処理量を27,000m ³ に増強(福井県公営企業設置条例第2条)

産業労働部(公営企業)の組織

